



株式会社荏原製作所

2022年12月期 第1四半期決算説明会

2022年5月12日

イベント概要

[企業名]	株式会社荏原製作所
[企業 ID]	6361
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2022 年 12 月期 第 1 四半期決算説明会
[決算期]	2022 年度 第 1 四半期
[日程]	2022 年 5 月 12 日
[ページ数]	12
[時間]	17:00 – 17:49 (合計：49 分、登壇：18 分、質疑応答：31 分)
[開催場所]	インターネット配信
[登壇者]	2 名 執行役 グループ経営戦略・経理財務統括部長 細田 修吾 (以下、細田) 経営企画部長 大崎 晃裕 (以下、大崎)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

大崎：お待たせいたしました。本日はご多用のところ、株式会社荏原製作所の 2022 年 12 月期第 1 四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

まずは私どもの出席者をご紹介します。グループ経営戦略、経理財務統括部執行役、細田修吾でございます。

細田：はい、細田でございます。よろしくお願いいたします。

大崎：司会は私、経営企画部、大崎が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。それでは細田より説明に入らせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



決算ポイント

FY22 1Q 業績

		前年同期比*	
■ 受注高	1,770 億円	+11.0%	↗
■ 売上収益	1,528 億円	+13.0%	↗
■ 営業利益	141 億円	+15.9%	↗

FY22 業績予想

		前期比*	
■ 受注高	6,925 億円	-10.2%	↘
■ 売上収益	6,600 億円	+9.4%	↗
■ 営業利益	660 億円	+7.5%	↗

*↗ は+5%以上、↘ は-5%以下の変化を、→ は変化が±5%未満であることを表す

トピックス

FY22 1Q 業績

- 受注高、売上収益、営業利益が過去最高を更新
- 風水力事業と精密・電子事業で受注高、売上収益が伸長
- 精密・電子事業の牽引により営業利益が増加
- 為替影響による円安が業績に寄与

FY22 業績予想

- 想定為替レートの見直しによる円安効果（業績にプラス寄与）はあるものの、原材料価格の高騰リスク等に鑑み、業績予想は据え置き
- ロシア・ウクライナ情勢に関して、同地域における売上金額は僅少であり業績への影響は軽微

細田：まず初めに今回の決算のポイントに関するご説明です。

22年12月期第1四半期の連結業績ですが、受注、売上、営業利益はいずれも前年同期を上回り、第1四半期決算としては、過去最高業績を更新しています。

風水力事業におけるコロナ禍で一旦停滞した経済活動の再拡大や、精密・電子事業における引き続き旺盛な半導体需要を背景として、売上の増加が見られたこと、さらに今期は、円安の為替影響も寄与しており、第1四半期業績としては、好調なスタートと認識しています。

2022年12月期の通期の業績予想については、為替動向を考慮して、ドル、ユーロ、人民元の主要通貨における想定為替レートを、円安方向に見直しましたが、業績数値は据え置いています。円安は当社業績に対して、プラスの方向に寄与すると見ていますが、同時に原材料や資源価格の高騰が長期化するようなリスクなど、先行きの不透明感なども鑑み、今回は業績数値を据え置きとしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

ロシア・ウクライナの情勢については、既に開示しておりますが、同地域における、売上当社グループ全体の売上金額はそれほど大きくなく、1%未満と非常に僅少で、当社業績への影響はそれほど大きくないと見えています。

1. FY22 1Q 連結決算サマリ 連結業績



(単位：億円)	FY21 1Q	FY22 1Q	増減	増減率
受注高	1,594	1,770	+175	+11.0%
売上収益	1,352	1,528	+175	+13.0%
営業利益	122	141	+19	+15.9%
営業利益率	9.0%	9.3%	+0.3pts	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	85	102	+16	+19.6%
為替レート 対米ドル (円)	106.09	116.23	+10.14	
対ユーロ (円)	127.81	130.42	+2.61	
対人民元 (円)	16.38	18.31	+1.93	

ここから先は詳細の説明です。

今期の第1四半期の連結業績については、受注は前年同四半期から175億円増加の1,770億円、売上も175億円増加の1,528億円、営業利益は19億円増加の141億円、営業利益率は0.3ポイント改善の9.3%となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、16億円の増加の102億円となりました。


為替レートの実績につきましては、記載の通り、米ドル、ユーロ、人民元の主要通貨で、全て、前年同期と比べ円安方向に動き、業績に対してはいずれもプラスに寄与しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

なお、当第1四半期の業績に対する、為替の影響による利益の押し上げ効果は、営業利益でプラス12億円分前期と比べ、プラス方向に押し上げられたと認識しています。営業利益以外の営業外損益では、5億円程度のプラス方向の効果があったと認識しています。

1. FY22 1Q 連結決算サマリ セグメント別



(単位：億円)		FY21 1Q	FY22 1Q	増減	増減率
連結合計	受注高	1,594	1,770	+175	+11.0%
	売上収益	1,352	1,528	+175	+13.0%
	営業利益	122	141	+19	+15.9%
	営業利益率	9.0%	9.3%	+0.3pts	
風水力	受注高	789	911	+121	+15.4%
	売上収益	819	876	+57	+7.0%
	営業利益	79	79	-0	-0.4%
	営業利益率	9.7%	9.0%	-0.7pts	
環境プラント	受注高	285	163	-122	-42.8%
	売上収益	194	216	+22	+11.4%
	営業利益	26	19	-6	-24.4%
	営業利益率	13.4%	9.1%	-4.3pts	
精密・電子	受注高	513	689	+176	+34.2%
	売上収益	334	431	+96	+28.9%
	営業利益	20	47	+27	+135.1%
	営業利益率	6.1%	11.0%	+4.9pts	
その他、調整	受注高	5	4	-0	-4.1%
	売上収益	4	3	-0	-16.5%
	営業利益	-3	-4	-1	-
	営業利益率	-77.3%	-123.8%	-46.5pts	

5 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved
Looking ahead, going beyond expectations
Ahead > Beyond

セグメント別のサマリーです。風水力事業では、受注・売上は前年同期を上回りました。

対面市場や地域によって、事業環境の強弱はあるものの、海外ではコロナ後の需要増や、円安の影響などによって、受注・売上が増加しました。営業利益は、原材料価格の高騰や、物流費の高騰などの影響によって、前年同期から横ばい水準でした。

環境プラント事業については、昨年のごみ処理施設の大型案件を2件受注し、非常に好調でしたが、今期は長期包括契約案件の受注が1件と、前年第1四半期と比べ、受注は減少しています。

売上はEPC工事の進捗が、前年同期を上回ったこともあり、売上は前年同期よりプラスですが、売上の中身のミックス悪化によって、減益となりました。

精密・電子事業については、昨年に引き続き、堅調な半導体需要に対応し、受注・売上・営業利益は、いずれも前年同期を上回りました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



1. FY22 1Q 連結決算サマリ 地域別売上収益



(単位：億円)	FY21 1Q		FY22 1Q		増減	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
連結合計	1,352	100.0%	1,528	100.0%	+175	+13.0%
日本	704	52.0%	707	46.3%	+2	+0.4%
海外	648	48.0%	821	53.7%	+172	+26.6%
中国	218	16.1%	217	14.2%	-1	-0.6%
アジア (中国除く)	200	14.8%	237	15.5%	+37	+18.6%
北米	94	7.0%	115	7.6%	+21	+22.7%
欧州	67	5.0%	125	8.2%	+57	+86.1%
中東	37	2.8%	64	4.2%	+26	+70.8%
その他	30	2.3%	60	4.0%	+30	+99.3%

※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

続いて6ページです。これは地域別の売上収益です。お客様の所在地別の売上です。

まず日本国内において、建築設備市場では、部材調達難等によって、お客様側の建設工事の遅れなどが発生し、当社の出荷に対し、お客様側の受け入れ準備が進まないなどの理由により、国内では伸び悩んでいる状況です。

一方、中国では、昨年は、コロナ禍からの市場回復が比較的好調で前年同期は良かったが、それに比べ、当第1四半期は一部の地域で、ロックダウンなどの影響もあり、伸び率は高水準ではありませんが、前年同期比では横ばいとなりました。

一方、日本や中国以外の地域では、いずれも前年同期を上回り、精密・電子事業の売上の伸びや、ポンプ事業において、昨年の4月に買収したトルコのポンプメーカーの新規連結化の分が寄与しており、伸びている状況です。セグメント別の地域別売上収益は、16ページにも掲載しています。

サポート

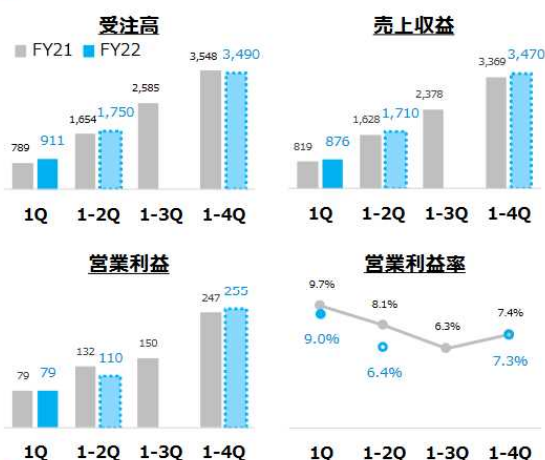
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2. FY22 1Q セグメント別業績



風水力

業績推移 (単位: 億円)



売上収益S&S比率

	FY21				FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
風水力	35.7%	34.3%	32.9%	33.9%	38.5%	-	-	-
ポンプ	31.3%	27.0%	24.1%	24.3%	30.7%	-	-	-
CT	51.3%	52.9%	53.8%	55.4%	61.5%	-	-	-

ポイント

- ポンプ**
 - 標準ポンプは国内外共に受注が好調
売上は国内でやや遅れがみられる
 - カスタムポンプは国内外共に受注が好調
中国で売上・営業利益が減少 (-)
- コンプレッサ・タービン (CT)**
 - コロナ影響の緩和などによりサービス&サポート (S&S) の受注・売上が増加
 - S&S比率の上昇により増益 (+)
- 冷熱**
 - 中国市場の需要は堅調で受注・売上が増加
 - 原材料価格の高騰により収益性が低下 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



続きまして、各セグメント別の詳細です。

まず、風水力に関し、受注は前年同期から 121 億円増の 911 億円、売上は 57 億円増の 876 億円、営業利益は前年とほぼ横ばいの 79 億円です。

風水力セグメントのサブセグメントでは、ポンプ事業は前年同期比減収減益でした。建築設備市場向け標準ポンプ事業では、主に昨年の 4 月に買収したトルコのポンプメーカーの連結化で、3 カ月分の業績がプラスに寄与、海外は全体的に好調でした。

一方で、国内は、原材料価格の高騰や、半導体不足による納期遅延などを懸念したお客様からの早期発注により受注は増加したものの、客先の工事中断や延期などにより、前述の通り、当社製品の出荷はなかなかできず、減益の一因となりました。

またカスタムポンプ事業では、昨年活況だった中国において今期はロックダウンなどの影響もあり、売上の遅れが減益の要因となりました。

コンプレッサ・タービン事業は、前年同期比増収増益です。昨年はコロナの影響による移動制限があり、サービス&サポートが伸びなかったのに対し、コロナ禍はまだ継続している一方で、その移

サポート

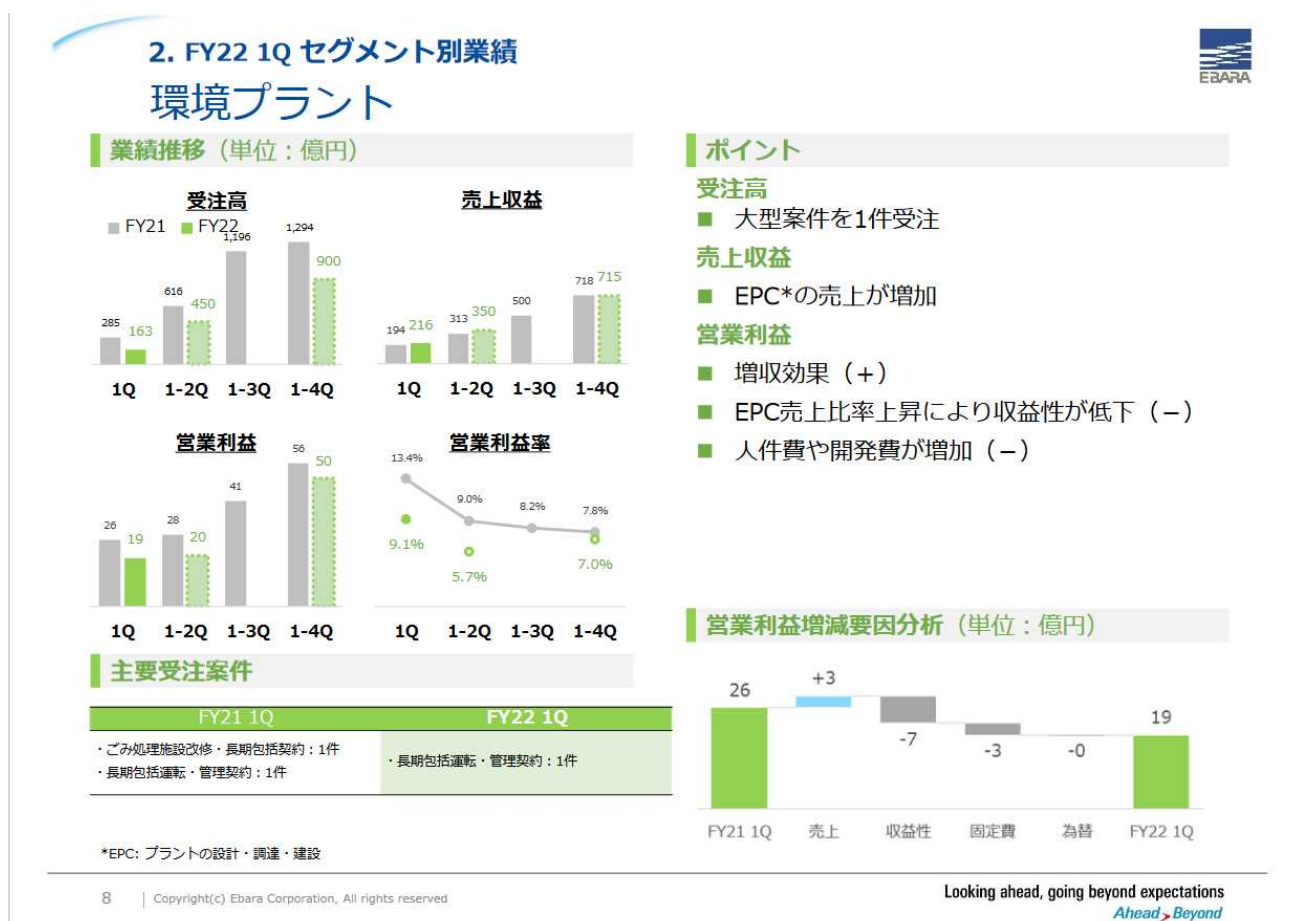
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



動制限は各国で緩和されつつあり、特に北米や中東でのサービス&サポートの需要の増加により、業績が去年同期比で改善しました。

冷熱事業は増収減益でした。中国市場が業績相変わらず堅調ですが、原材料価格高騰の影響等によって減益となりました。

以上が風水力事業です。



続いて、環境プラント事業です。

受注は前年同期比 122 億円減の 163 億円、売上は 22 億円増の約 216 億円、営業利益は 6 億円減の 19 億円で増収減益となりました。

受注案件はスライドの左下に記載の通り、長期包括契約案件 1 件を当第 1 四半期で受注しており、去年同期と比べ受注は減りましたが、計画値対比では、社内計画通り推移しています。

売上は EPC 工事進行案件の進捗が去年同期比で増加していますが、一方、EPC と O&M のミックスにおいて、EPC 売上構成比の増加により収益性は低下しました。

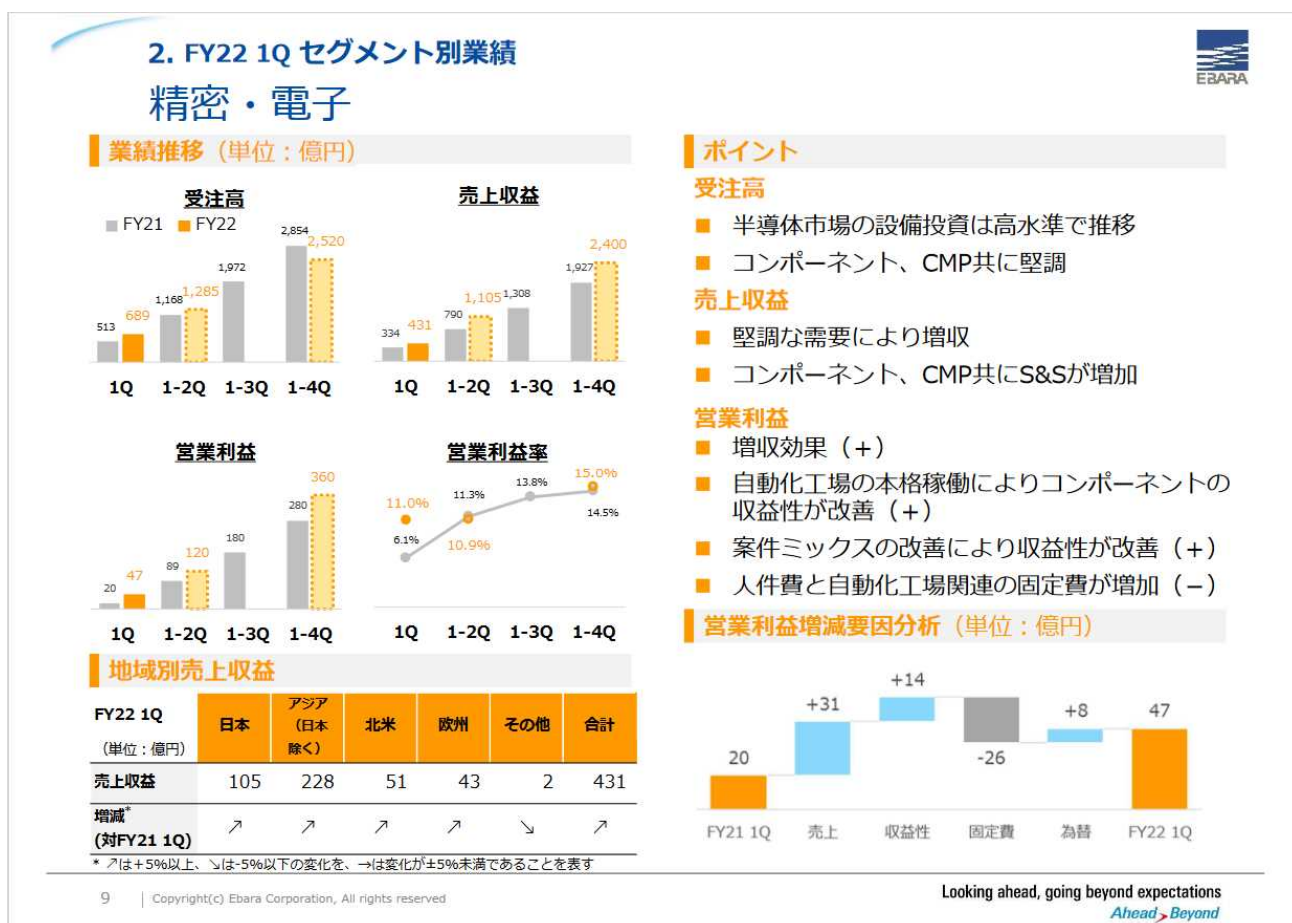
この他、人件費や研究開発費などの固定費の増加により営業利益は前年同期を下回りました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



以上が環境プラント事業です。



続きまして、精密・電子事業でございます。

受注は前年同期比 176 億円増の 689 億円、売上は 96 億円増の 431 億円、営業利益は 27 億円増の 47 億円です。受注・売上・営業利益いずれも、精密・電子事業セグメントとして第 1 四半期としては過去最高を更新しました。

半導体市場において、お客様全般の設備投資は引き続き高い水準で推移しており、受注は前年同期から 3 割強増加しました。

第 1 四半期の受注額 689 億円は、昨年の第 3 四半期と第 4 四半期が比較的好調で 800 億円超えの受注水準でしたが、それに比べると 689 億円は少し少なく見えますが、高水準で推移することには変わりない状況で、半導体サプライチェーンの問題が長期化する中で、今後もお客様からの早期発注の動きは、業界全体で継続すると見ており、高水準が継続するものと思っています。

このような環境下で、半導体需要の増加と連動し、受注・売上は、製品、サービス&サポート共に、順調に推移をしています。営業利益は増収の他、ドライ真空ポンプの自動化工場の本格稼働

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



が、当第1四半期で開始されたほか、全体通して案件ミックスの改善などにより、収益の改善が見られ、営業利益は改善しました。

一方、人件費の増加、自動化工場の本格稼働に伴う減価償却費などの関連固定費が増加により、固定費は増加しています。

第1四半期の連結業績に関する説明は以上です。

3. FY22 業績予想 連結業績



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q				1-4Q			
	FY21 実績	FY22 計画 22/02/14	増減	増減率	FY21 実績	FY22 計画 22/02/14	増減	増減率
	a	b	b-a		c	d	d-c	
受注高	3,449	3,493	+43	+1.3%	7,714	6,925	-789	-10.2%
売上収益	2,741	3,173	+431	+15.7%	6,032	6,600	+567	+9.4%
営業利益	246	246	-0	-0.4%	613	660	+46	+7.5%
営業利益率	9.0%	7.8%	-1.2pts		10.2%	10.0%	-0.2pts	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	167	170	+2	+1.3%	436	460	+23	+5.5%
ROIC					10.7%	10.5%	-0.2pts	
1株当たり年間配当金					163	170	+7	
中間配当金					50	85	+35	
期末配当金					113	85	-28	
為替レート 22/05/12更新								22/02/14開示時点の FY22為替レート
対米ドル (円)	107.81	125.00	+17.19		109.86	125.00	+15.14	110.00
対ユーロ (円)	129.88	135.00	+5.12		129.91	135.00	+5.09	130.00
対人民元 (円)	16.67	19.00	+2.33		17.04	19.00	+1.96	17.00

10 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead > Beyond

続きまして、今年度の通期の業績予想に関してご説明します。

前回の2月に公表した期初の業績予想値は、変更はありませんが、業績予想の前提となる想定為替レートを見直しました。

想定以上の円安進行に伴い、米ドルは期初予想の110円に対し125円、ユーロは期初予想の130円に対し135円、人民元は期初予想の17円に対し19円に、それぞれ円安方向に想定為替レートを変更しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com




円安は当社の業績に対して、プラス方向に寄与しますが、一方で原材料価格の高騰、半導体不足の収束時期が不透明な状況が続いており、部材の調達難や、コスト上昇の長期化による下振れリスクもみえています。

円安による業績の上振れ、原材料高騰などの下振れリスク等を、双方緩和した上で、業績予想に関して、現段階では据え置きとしました。

据え置きの6,925億円の受注、6,600億円の売上、660億円の営業利益としました。

その他経営指標に関しては、スライドの記載の通りです。

3. FY22 業績予想 セグメント別



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)		1-2Q				1-4Q			
		FY21	FY22 計画 22/02/14	増減	増減率	FY21	FY22 計画 22/02/14	増減	増減率
		a	b	b-a		c	d	d-c	
連結合計	受注高	3,449	3,493	+43	+1.3%	7,714	6,925	-789	-10.2%
	売上収益	2,741	3,173	+431	+15.7%	6,032	6,600	+567	+9.4%
	営業利益	246	246	-0	-0.4%	613	660	+46	+7.5%
	営業利益率	9.0%	7.8%	-1.2pts		10.2%	10.0%	-0.2pts	
風水力	受注高	1,654	1,750	+95	+5.7%	3,548	3,490	-58	-1.6%
	売上収益	1,628	1,710	+81	+5.0%	3,369	3,470	+100	+3.0%
	営業利益	132	110	-22	-16.9%	247	255	+7	+2.8%
	営業利益率	8.1%	6.4%	-1.7pts		7.4%	7.3%	-0.1pts	
環境プラント	受注高	616	450	-166	-27.0%	1,294	900	-394	-30.5%
	売上収益	313	350	+36	+11.6%	718	715	-3	-0.5%
	営業利益	28	20	-8	-29.4%	56	50	-6	-11.2%
	営業利益率	9.0%	5.7%	-3.3pts		7.8%	7.0%	-0.8pts	
精密・電子	受注高	1,168	1,285	+116	+9.9%	2,854	2,520	-334	-11.7%
	売上収益	790	1,105	+314	+39.8%	1,927	2,400	+472	+24.5%
	営業利益	89	120	+30	+34.8%	280	360	+79	+28.4%
	営業利益率	11.3%	10.9%	-0.4pts		14.5%	15.0%	+0.5pts	
その他,調整	受注高	9	8	-1	-13.3%	17	15	-2	-15.5%
	売上収益	8	8	-0	-6.3%	16	15	-1	-7.2%
	営業利益	-2	-4	-1	-	29	-5	-34	-
	営業利益率	-34.2%	-50.0%	-15.8pts		180.1%	-33.3%	-213.4pts	

11 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved
Looking ahead, going beyond expectations
Ahead Beyond

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



4. 補足資料

キャッシュ・フロー



発表日(年/月/日)	1Q			1-4Q			
	FY21	FY22	増減	FY21	FY22 旧計画 22/02/14	FY22 計画 22/05/12	増減
	a	b	b-a	c		d	d-c
営業活動CF	243	67	-176	728	750	650	-78
投資活動CF	-97	-65	+31	-313	-480	-480	-166
フリーCF	146	2	-144	414	270	170	-244
財務活動CF	-17	-210	-193	-294	-240	-240	+54

なお、キャッシュフロー計画に関し、期初想定以上に、運転資本の増加傾向が見えてきており、若干見直しました。

営業活動キャッシュフローに関しましては、18 ページの上の通り、期初よりも減らす方向で見直しました。

業績の見通しについては、今後の経営環境を見きわめつつ、業績への大きな変化が生じた場合には、必要に応じて見直しを行って、速やかに開示します。

以上、私からの説明になります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com